

## ボラティリティーの変動に着目する運用

近年、ボラティリティーの変動に着目する運用戦略が注目されている。ターゲット・ボラティリティー戦略とカバードコール戦略も、それらの一つである。

ファンドのリスク水準を一定に保つターゲット・ボラティリティー戦略は、リスクが上昇するなか、株価の下落が予測される局面で、株式配分を減らし、下方リスクを抑制する効果が期待できる。

カバードコール戦略は、海外における研究では、インデックス・ファンドに投資するよりも、リスクに対するリターン効率性が高く、下方リスクも抑制できるとされている。

そこで、近年の日本市場のデータを利用し、これらの戦略の効果があつたか検証した。日本市場では、株価の変動とボラティリティーの水準に明確な関係が観察されなかったため、ターゲット・ボラティリティー戦略は、これまでのところ、その効果を十分には発揮できていなかった。カバードコール戦略は、リスクに対するリターン効率性が確認されたが、ボラティリティーの変動に対する効果は、相対的には低いものであつた。

### 《目次》

- ・ (年金運用)：ターゲット・ボラティリティー戦略の可能性
- ・ (年金運用)：カバードコール戦略の可能性
- ・ (年金運用)：ボラティリティーの変化に依存する運用戦略の比較